



# 三光幼稚園だより 2月号

http://sanko-kg.minato-kyo.ed.jp

ブログ: http://sanko-kg.minato-kyo.ed.jp/blog

公式 X: https://x.com/sankokg



令和7年1月30日  
港区立三光幼稚園  
園長 藤井 未知江

## 思いやりの心をかたちに

園長 藤井 未知江

今年度は国際理解教育に重点をおき、教育活動を進めてきました。ネイティブ・ティーチャーが派遣されたことを生かし、様々な国の言語や文化に触れる遊びや活動を行いました。その一方で、国際理解教育の根幹として、まずは自国の日本の文化や伝統を知ることが重要です。そのため11月末に初めてお茶会を体験する場を設け、講師の方から子どもたちに茶道の由来や意味、所作などを教えていただきました。

先日、これも初めての試みとして、小笠原流礼法の講師の方をお迎えし、年中・年長組を対象に、「思いやりの心をかたちに」と題して、子どもたちに相手に思いが伝わるお辞儀や挨拶の仕方、健康な生活を送るための歩き方や座り方などを教えていただきました。特に挨拶の仕方について、「相手の顔を見て『おはようございます』と伝えてからお辞儀をするとよい」と教わりました。

挨拶は言葉と動作が同じになる同時礼が一般的ですが、同時礼の場合、言葉は地面に向かって言いがちになります。相手を思い自分の気持ちが伝わるよう、まず、伝えたい言葉を相手に伝え、その後にお辞儀をする、と教わり、あらためて子どもたちが分離礼の意味とやり方を知る機会となりました。分離令も同時礼も、どちらも学年や発達に応じて、また状況に合わせて使えるようになるとよいですね。

同様に、日本に伝わる「語先後礼」は、相手を慮り、顔を見て伝えたいことを述べてからお辞儀をする、日本ならではの所作の一つを意味します。小学校へ入学すると、登下校の際だけでなく、授業開始や終わりなど、まずは様々な挨拶が基本となります。状況に応じた挨拶は他者とのコミュニケーションの第一歩であり、国際人としての礎となるものです。是非、様々な場面で、保護者の皆様も挨拶をされる姿をお子さんに見せていただき、子どもたちの良いお手本になっていただきたいと思います。

### ✿ 教育目標 ✿

じょうぶで元気な子  
豊かな心をもつ子  
自ら考えて行動する子



マナーブックの絵を見ながら、講師の話聞く子どもたち



交代で挨拶をする子どもたち

## 2月の保育のねらい

### 3歳たんぽぽ組

- 自分の思いを言葉や動きで表しながら、教師や友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる。
- 身の回りのことや生活に必要なことを自分で行おうとし、自分でできる喜びを感じる。
- 身近な冬の自然物に興味や関心をもち、触れたり関わったりすることを楽しむ。



### 4歳ちゅうりっぷ組

- 友達と一緒に遊ぶ中で工夫して作ったり、考えて動いたりしながら自分のイメージに近づけていくことを楽しむ。
- 年長組への憧れをもち、当番活動を引き継いだり、身の回りのことに自分から取り組んだりする喜びを感じる。
- 冬の身近な自然に興味をもち、遊びに取り入れたり、気付いたことを友達や教師に伝えたりして楽しむ。



### 5歳すみれ組

- 園の仕事を年中組に引き継いだり、修了に向けての活動をしたりすることを通して、年長組として自覚をもって生活する。
- 学級のみinnで目的をもって遊びや活動を進める中で、自分の力を発揮したり、互いのよさや違いを認めたりする。
- 身近な冬の自然現象や栽培物に興味をもち、調べたり試したりし、関心を高める。

